

## 『身体教育医学研究』 投稿規程

1. 雑誌の名称は和文名「身体教育医学研究」、英文名「Journal of Physical Education and Medicine」とする。略誌名は和文名「身教医誌」、英文名「J Phys Edu Med」とする。冊子版 (ISSN 1345-6962) とオンライン版 (ISSN 1883-0722) の二つの形態で出版する。オンライン版は科学技術情報発信・流通総合システム (J-stage : <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>) にて公開される。
2. 本誌は、身体教育医学研究所、身体教育医学研究所うなん、転倒予防医学研究会のメンバーで構成される身体教育医学研究編集委員会が共同で発刊し、転倒予防医学研究会の準機関誌として位置づける。
3. 本誌は、年に1回以上発行する。
4. 本誌には、身体教育医学及び転倒予防医学に関わる保健、医療、福祉、教育等の領域・分野の総説、論説、原著、報告等を掲載する。

原稿の種類	内 容
総 説	身体教育医学及び転倒予防医学に関する総括、文献解題
原 著	身体教育医学及び転倒予防医学に関して新しく開発した手法、発見した事実等の論文
報 告	身体教育医学及び転倒予防医学に関する論文、ケースレポート、フィールドレポート
その他	身体教育医学及び転倒予防医学に関して参考となる資料や書評、論文の紹介など

ただし、「総説」、「その他」の原稿は、原則として編集委員会の企画により執筆依頼をした論文とする。

5. 本誌への投稿は、転倒予防医学研究会の会員と非会員とを問わず、論文を投稿することができる。
6. 投稿された原稿は、専門領域に応じて選ばれた査読員による審査の後、原稿の採否を編集委員会で決定する。
7. 原稿の執筆にあたっては、「執筆の手引き」を参照すること。
8. 投稿の締切日は特に設けないが、12月10日までに到着し、審査を済ませた論文は、翌年の3月に発行する巻に掲載する。
9. 原稿の受理の日付は、審査の後、掲載を決定した日とする。
10. 原稿を投稿する場合は、「身体教育医学研究所」Webサイト (URL : <http://pedam.org>) にある投稿表紙に記入して送付する。投稿表紙を受け付けた後、こちらから連絡する投稿用メールアドレスに原稿を送付することとする。  
**送付・問い合わせ先** 〒389-0402 長野県東御市布下6-1  
身体教育医学研究所『身体教育医学研究』編集委員会事務局  
TEL/FAX 0268-61-6148 E-mail [journal@pedam.org](mailto:journal@pedam.org)
11. 著者校正は原則として1度行う。なお、掲載にあたり、編集者の責任で投稿規程に従って修正する場合がある。
12. 投稿原稿は、既に学術誌に発表あるいは投稿していないものに限る。
13. 本誌に掲載された論文の著作権は、本編集委員会に帰属する。著者自身が自分の論文を全文または一部を複写・転載の形で非営利・教育研究目的に利用する場合はこれを妨げない。なお、その利用に際してはその著作物が本会発行誌に掲載されたものであることを明記しなければならない。

2010年3月31日改定

### <編集委員会>

- 編集委員長：武藤芳照 (東京大学大学院教育学研究科身体教育学講座)  
編 集 委 員：萩野浩 (鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部)  
小原淳 (東京厚生年金病院薬剤部)  
上岡洋晴 (東京農業大学地域環境科学部身体教育学研究室)  
岡田真平 (身体教育医学研究所)  
北湯口純、鎌田真光 (身体教育医学研究所うなん)  
協 力 委 員：山田有希子 (東京厚生年金病院図書室)  
芦田由可里 (転倒予防医学研究会事務局)  
高橋美絵 (身体教育医学研究所)

## 執筆の手引き

1. 原稿は、和文または英文とする。原稿は、ワードプロセッサを用いる。原稿は、A4版800字（40字×20行）詰め用紙で15枚以内（図表は各々0.5枚と数える）に相当する長さとする。和文は、A4版用紙縦に横書きし、英文は、すべてA4版用紙縦に、ダブルスペースでタイプする。
2. 原稿は、原則としてMS Wordまたは一太郎ファイルおよびテキスト形式のファイルとする。
3. 投稿された原稿は返却しない。
4. 文章の新仮名づかい、ひら仮名使用とし、句読点、カッコ（「, 『, (, [など）は、1文字とする。
5. 図表の原図は、黒インクを使って明瞭に書く。縮小することが適当と考えられる図は、図内の数字または、文字を縮小率に応じて大きく書く。
6. 図表はすべて本文とは別紙とし、本文中に挿入すべき箇所を原稿の欄外に朱書により、明瞭に指定する（図1、表2など）。
7. 印刷・製版に不相当と認められる図表は、書きかえ、または割愛を求めることがある。
8. 図表は原則として黒インクを使用とする。カラーの図表を用いる場合は、冊子体についてはその費用は著者負担とする。オンライン版は、カラーの図表及び動画が電子付録として無料で掲載が可能となる場合があるので編集委員会と投稿者と相談の上、決定する。
9. 和文原稿には、200～300語程度の英文抄録、英文原稿には1,200字以内の和文抄録をつけ、5つ以内のキーワード（和文と英文）を添える。
10. 文献は引用したもののみとし、引用順に並べ、本文中の引用箇所には、必ず肩番号をつけ文章の最後に記載する。例えば、……知られている<sup>1)</sup>。」または、「……<sup>2)4)</sup>」「……<sup>1) -5)</sup>」のようにする。
11. 複数著者の場合は、1名を記し、あとは「ほか」、英文では「et al.」とする。
12. 文献の書き方は以下の通りとする。

### A 雑誌等の定期刊行物の場合

#### 1. 雑誌の一論文

著者名. 論文名. 誌名. 巻(号) : はじめのページ-終わりのページ, 出版年.

- 1) 高橋亮輔ほか. 小学生の身体特性および生活習慣について. 身体教育医学研究. 7(1) : 25-30, 2006.
- 2) Koepsell TD, et al. Footwear style and risk of falls in older adults. J Am Geriatr Soc. 52(9) : 1495-501, 2004.

#### 2. 印刷中の論文

著者名. 論文名. 誌名. 巻(号), 出版年, 掲載予定.

- 1) 上岡洋晴ほか. 大学の「生命倫理」科目における一教材の質的データ分析:小動物虐待・致死に関する児童の作文を教材として. 身体教育医学研究. 7(1), 2006, 掲載予定.
- 2) Komatsu T, et al. Clinical factors as predictors of the risk of falls and subsequent bone fractures due to osteoporosis in postmenopausal women. J Bone Miner Metab. 2006 ; 24(5), in press.

#### 3. 特集の一記事

著者名. 論文名 (特集 :). 誌名. 巻(号) : はじめのページ-終わりのページ, 出版年.

- 1) 小原淳. 睡眠薬, 抗うつ薬, 抗不安薬による転倒・転落 (特集 : いつもの処方・使い方も危ない! 薬で起こる急変はこうして防ぐ). エキスパートナース. 22(13) : 60-64, 2006.

#### 4. 会議報告

著者名. 論文名. 会議名. 誌名. 巻(号) : はじめのページ-終わりのページ, 出版年.

- 1) 萩野浩ほか. 骨粗鬆症性骨折発生後のQOL変化. 第15回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会. リハビリテーション医学. 42(8) : 578, 2005.

## 5. 新聞

見出し名. 新聞名. 出版年月日(曜日)面.

- 1) 10月10日は転倒予防の日. 読売新聞. 2006年10月9日(月)朝刊10面.

## B 単行本の場合

### 1. 図書1冊

著者名. 書名. 出版者, 出版地, 発行年.

- 1) 武藤芳照編. 大人も知らないからだの本 : 運動器のおはなし. 「運動器の10年」日本委員会, 東京, 2005.
- 2) Miyashita M, et al. Medicine and science in aquatic sports (Medicine and sport science ; v. 39) . Karger, Tokyo, 1994.

### 2. 図書の一部

著者名. 論文名. 編者名, 書名. 版表示. 出版地, 出版者, 出版年, pはじめのページ-終わりのページ. (シリーズ名; シリーズ番号)

- 1) 岡田真平ほか. 11 ボール運動あそび. 武藤芳照ほか編, 転倒予防教室. 第2版. 日本医事新報社, 東京, 1999, p160-161.

### 3. シリーズ全体の場合

著者名. 書名. 出版地, 出版者, 出版年.

- 1) 内閣府編. 障害者白書. 東京, 国立印刷局, 1994-.

## C 電子媒体の場合

### 1. 電子雑誌

著者名. 論文名. 誌名. 巻(号), 出版年. 入手先<URL>, 入手日時.

- 1) 河野徳良. アスレティックトレーニングにおける研究テーマの変遷. 体力科学. 54(1), 2005. 入手先<[http://www.jstage.jst.go.jp/article/jspfsm/54/1/55/\\_pdf/-char/ja/](http://www.jstage.jst.go.jp/article/jspfsm/54/1/55/_pdf/-char/ja/)>, 参照2007-2-13.
- 2) Sanchez-Garcia S, et al. Anthropometric measures and nutritional status in a healthy elderly population. BMC Public Health. 7(2), 2007, available from <<http://www.biomedcentral.com/1471-2458/7/2>>. Accessed 2006-12-23.

### 2. 電子図書

著者名. 書名. 版表示. 出版者, 出版年. 入手先<URL>, 入手日時

- 1) 内閣府大臣官房政府広報室. 体力・スポーツに関する世論調査. 内閣府, 2004. 入手先<<http://www8.cao.go.jp/survey/h15/h15-sports/index.html>>. 参照2006-12-20.

### 3. Webサイト

著者名. Webページの題名. Webサイトの名称. 入手先<URL>. 入手日時.

- 1) 武藤芳照. 「転倒予防医学研究会」の発足に当たって. 転倒予防医学研究会. 入手先 <<http://www.ellesnet.co.jp/tentou/aisatsu.html>>. 参照2007-01-23.